

日本オセアニア学会第37回研究大会における新型コロナウイルス感染症への対応について

2020年2月21日

日本オセアニア学会会長 柄木田康之

現在新型コロナウイルス感染の件が日本国内で懸念されております。オセアニア学会理事会および研究大会事務局で、他の国内学会の開催の状況、厚生労働省 (https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000164708_00001.html) や文化庁 (https://www.bunka.go.jp/koho_hodo_oshirase/sonota_oshirase/20200206.html) の対応を参考にしながら、また感染症疫学の専門家でもあります中澤港会員にご意見を頂きつつ検討を重ねてまいりました。つきましては、現時点では下記の配慮のもとでの予定通りの開催を予定しております。

参加予定の方は、まずは手洗い、咳エチケット（マスクを着用する）などの一般的な感染症対策に努めていただくようお願いいたします。咳や発熱などの症状がある方は参加をお控えいただくようお願いいたします。また、今年度の研究大会の懇親会は適宜簡略化し、通例行われる二次会は開催しないことにいたします。

ただし今後の状況によっては、学会大会の開催を中止あるいは会場変更させていただく場合がありますので、学会大会ホームページ、並びにメーリングリストなどによる連絡をご確認ください。

なお、参加の取りやめにつきましては、2月29日（土）まではキャンセル料金なしで受け付けできます。大会事務局までメール (oceania37taikai@gmail.com) でお知らせください。それ以降は、キャンセル料をいただく可能性がございます。